

# 平成17年度当初予算

## 少子化対策、雇用・地域経済の再生、中山間地域の振興など、 県民のくらしを大切にする改革予算です



福島県知事 佐藤 栄佐久

県の平成17年度当初予算が、2月定例県議会で可決されました。

一般会計の総額は、9,250億円です。

16年度当初予算を1.7%、額にして154億円上回りましたが、三位一体改革に伴う国民健康保険への県負担の導入など特殊な増加分を除くと実質的には2.3%のマイナスとなります。厳しい財政状況のなか、直面する課題に対応だけでなく、将来を見据え、県の発展につながる事業には積極的に予算を配分するなど、柔軟な編成を行いました。

三位一体改革が2年目を迎え本格化する中で、ますます地方の主体性の発揮が求められています。こうした状況の変化に柔軟かつ前向きに対応していくため、昨年見直しを行った財政構造改革プログラムに基づく、さらなる取り組みを進める一方、現場の創意工夫をこれまで以上に生かすなど、予算編成のあり方を抜本的に見直しました。

また、厳しい財政状況の中にあっても、本県の将来を見据え、県勢伸展の布石となる事業には、積極的に取り組んでいくこととしました。特に「少子化対策の推進」「地域経済の再生」「過疎・中山間地域の振興」「いのち・人権・人格を尊重する社会の形成」「循環型社会の形成」の5つの重点推進分

野の予算枠を大幅に拡充し、部局の枠を超えた視点から横断的な取り組みを進めてまいります。具体的な事業としては、小・中学校全学年における30人程度学級の実現に向けた市町村への支援や過疎・中山間地域の振興、新産業の創出や戦略的な企業誘致、治水や利水に環境保全対策を含めた総合的な水管理計画の策定などの取り組みを積極的に推進します。

真の地方分権の実現に向けて動き出したこの時代の変化を踏まえ、一人ひとりが大切にされ、いきいきと生活できる社会の形成など「うつくしま21」に掲げる県づくりの理念の実現に全力を傾けてまいりますので、県民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 17年度の重点推進分野の主な事業

(1万円未満切り捨て)

#### ● 少子化対策の推進

● 30人程度学級推進事業	70億5,284万円
● 高齢者の地域子ども預かり事業	945万円
● 次世代育成・少子化対策推進事業	333万円
● 会津児童相談所整備事業	3億5,798万円

#### ● 地域経済の再生

● ふくしまブランド育成事業	4,108万円
● 地域ビジネス創出支援事業	1億3,500万円
● ふくしまの産業強化資金	50億円
● うつくしま・宝発信、発見プロジェクト	7,112万円

#### ● 過疎・中山間地域の振興

● UIターナー者定住化促進事業	515万円
● へき地診療所のための遠隔医療設備整備補助事業	1,568万円
● 携帯電話通話エリア広域ネットワーク化事業	3億4,713万円
● 中山間地域等直接支払事業	15億3,954万円

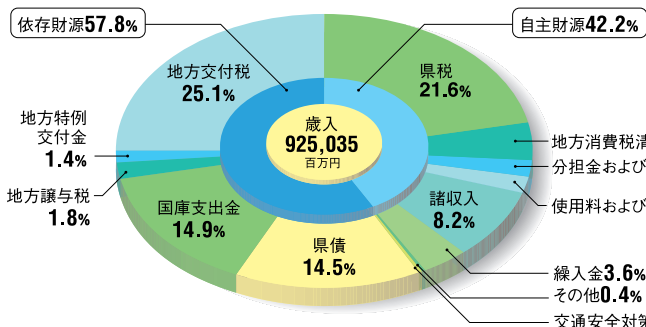
#### ● いのち・人権・人格を尊重する社会の形成

● 医科大学附属病院救命救急センター整備事業	3,376万円
● 障がい者地域生活移行自立サポート事業	2,009万円
● 自動体外式除細動器推進事業	500万円
● 公共施設ユニバーサルデザイン推進事業	316万円

#### ● 循環型社会の形成

● 総合的な水管理推進事業	1,000万円
● 猪苗代湖等水辺環境保全事業	270万円
● 「森林文化のくに・ふくしま」創造事業	1,108万円
● 新エネ導入によるまちづくり支援事業	1,005万円

### 歳入



### 歳出

[目的別]

